

幼児教育支援センター運営事業

学びの改革支援課

1 事業目的

全ての就学前児童に対して質の高い幼児教育を提供し、主体的に学び続ける信州人の基盤をつくる。

- ・ 基本理念「目指す姿」

【子ども像】 笑顔かがやき、夢中になって遊ぶ子ども

【保育者像】 一人一人の生きる力を育むため、遊びや生活を子どもと共に創造し、子育てを支える人間性豊かな保育者

【家庭・地域像】 子どもと共に遊び、話し合い、協力し合える家庭と、それを見守り、支える地域

- ・ 方針 ①園外研修の充実 ②園内研修の充実 ③幼保小の接続・連携
④配慮の必要な子どもへの支援 ⑤子育て支援・保育参加 ⑥市町村・関係団体・県の連携

2 課題

(1) 保育者の資質向上

- ・ 遊びを中心とした保育の本質について理解し、実践する力の育成が必要
- ・ 園種や公私を超えて共通する課題や、それぞれの現場のニーズに応じた研修の充実

(2) 幼保小の接続・連続性の確保

- ・ 幼児期の遊びで培った主体性等が、小学校での学びに十分につながっていない

3 事業内容

		取組の概要	R4	R5
保育者の資質向上	研修の体系化	スリムでキャリアアップ効果の高い研修体系を普及	・保育者育成指標に基づく、オンライン研修動画の拡充	・保育者育成指標に基づく、オンライン研修動画の拡充
	園訪問支援	センタースタッフによる園訪問支援の強化	・園種を越えた訪問支援の拡充 ・アドバイザー派遣事業の実施	・アドバイザー派遣事業の拡充 ・スタッフの支援力強化
	保育者研修	キャリアステージに応じた研修により資質・能力を育成	・園種を越えて、全ての保育者にキャリアステージI～IVに応じた研修を実施	・キャリアステージ研修の充実 ・研修の相互乗り入れによる団体間の橋渡し
	中央協議会参加	他都道府県の研究成果の発表と意見交換	・県内の各園からの参加 ・長野県幼児教育協議会の実施	・長野県幼児教育協議会の拡充 (県内の研究成果の共有)
	フィールド研修	実践園における保育実践から学び合う研修を実施	・5つの実践園、実践校でオンライン研修を実施	・新たな実践園校でのF研修 ・実践園での、地域リーダーとしての働きの機能
幼保小接続	接続カリキュラム普及	幼児期と小学校の育ちをつなぐカリキュラムを開発	・「理論編」「実践編」を用いた職員対象の研修を実施	・フィールド研修実践校を中心に実践事例の蓄積、情報提供
市町村	保育の質向上支援	保育の質の格差を是正し、各市町村における質を向上	・市町村担当者会議の開催	・市町村担当者会議の開催
県	子どもの育ちネットワークの結成	幼児期の子どもの育ちを共有し、関係課の事業を支援	・関係課連携ミーティングの開催	・関係課連携ミーティングの開催
情報	情報の発信	保育・幼児教育関係者が必要とする情報を提供	・ホームページの充実 ・研修等のオンデマンド配信	・ホームページの充実 ・タイムリーな情報発信

4 令和5年度予算額 702万1千円